

社会調査士(キャンティテイト)申請のご案内

こんにちは、社会調査協会です。

社会調査士(キャンティテイト)の6月申請(認定発表10月1日)の受付を例年どおり開始します。以下の3つの要件に当てはまる方は当協会のWebシステムで簡単に申請書類を作成できますので、この機会に是非申請してください。Webシステム申請・書類提出の受付期間は各大学によって違います。連絡責任者の先生・事務担当の方によく確認しましょう。

社会調査士(キャンティテイト)を申請するための3要件

- ① 大学在籍期間が1年以上である
※②と③の条件を満たしていれば2年次から申請できます。
- ② 標準カリキュラムA～Gに対応する科目の単位を3科目以上取得している
- ③ 単位取得済み科目と履修中の科目の合計が5科目以上ある

Webシステムのログイン画面はこちらです。(<https://www.jcbsr.jp/student/login>)

社会調査士(キャンティテイト)申請方法はこちらで確認できます。(当協会HPより)
(https://jasr.or.jp/for_students/guidance/capaappl_promis/)

皆さんの大学では社会調査士資格取得カリキュラムが設置されています。このカリキュラムを履修し、社会調査について専門的な知識と方法を学ぶことで、社会調査だけでなく、業種や職種を問わず、どんな企業、事業所でも求められる多種多様なスキルを獲得できます。

社会調査士(キャンティテイト)は、「社会調査士として卒業するのはもう少し先ですが、これからも学びつづけることでさらに多くのスキルを身につけ、大学卒業と同時に社会調査士資格を取得する見込みです」ということを社会調査協会が証明するものです。

社会調査について皆さんが学び、経験したことで、

どのような課題に取り組み困難を乗り越えたか、
社会調査についてどんな知識やスキルを身に付けたか、
さらにそれを活かしてどんな仕事をしたいか、などなど

さまざまな切り口で自分だけのアピールポイントが見つかるはず。社会調査士(キャンティテイト)は皆さんのアピールポイントをより具体的で確かなものにします。企業へのコンタクト、各種エントリーシート作成から、さらには面接に至るまでの就活全ての局面で、チャンスを逃さず効果的な自己PRをするために社会調査士(キャンティテイト)を役立ててください。

新型コロナウイルス禍が皆さんの学生生活や就職活動に及ぼした影響は計り知れず、以前とは違うルールや仕組みに直面しながら最善をつくされていると思います。そんな皆さんの力に少しでもなれたら幸いです。

社会調査協会は皆さんを応援しています。
学生向けHP(<https://jasr.or.jp/students/>)も見に来てください。